

中国行きのスロウ・ボート (中公文庫)



[中国行きのスロウ・ボート \(中公文庫\) 下载链接1](#)

著者:[日] 村上春树

出版者:中央公論社

出版时间:1997-04

装帧:文庫

isbn:9784122028401

春の追憶と内なる魂の旅を描く表題作ほか6篇。著者初の短篇集。

作者紹介:

1949(昭和24)年、京都市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。'79年『風の歌を聴け』(群像新人文学賞)でデビュー。主な長編小説に、『羊をめぐる冒険』(野間文芸新人賞)、『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』(谷崎潤一郎賞)、『ノルウェイの森』、『国境の南、太陽の西』、『ねじまき鳥クロニクル』(読売文学賞)、『海辺のカフカ』、『アフターダーク』、『1Q84』(毎日出版文化賞)がある。『神の子どもたちはみな踊る』、『東京奇譚集』などの短編小説集、エッセイ集、紀行文、翻訳書など著書多数。

目录: 中国行きのスロウ・ボート

貧乏な叔母さんの話

ニューヨーク炭鉱の悲劇

カンガルー通信

午後の最後の芝生

土の中の彼女の小さな犬

シドニーのグリーン・ストリート

・・・・・ (收起)

[中国行きのスロウ・ボート \(中公文庫\) 下载链接1](#)

标签

日本文学

村上春樹

村上春树

日文原版

小说

日本

评论

最最喜欢袋鼠

随手拈来，随便写写~~

超棒吧。靠着这本小说打发掉了来日本的寂寞的第一个月。种种。

我很同意第一篇小说的看法个体的属性多种多样强过了各种各样没有意义的分类。与其总结日本人并给他们贴上标签作为无谓的扯淡材料，我还是喜欢去了解他们独自的个性和感受。

[中国行きのスロウ・ボート \(中公文庫\) 下载链接1](#)

书评

村上春树的短篇小说集，收录早期的七篇作品。

《去中国的小船》讲述“我”与中国人打交道的几次经历。在作者笔下，“中国”是知道但陌生的所在，而“我”生活在其中的东京，其实也是仿佛熟悉实则陌生的，是身处其中的“中国”。《穷婶母的故事》讲述我被穷婶母附体的故事。...

[中国行きのスロウ・ボート \(中公文庫\) 下载链接1](#)